

- ① 一の位の数がわからない5桁の自然数4183□が、5の倍数であり、3の倍数でもあるとき、一の位の数を求めよ。

【解答】 5 (3)

【解説】

□に入る数を a ($0 \leq a \leq 9$) とする。

4183□が5の倍数であるから $a=0, 5$

各位の数の和は $4+1+8+3+a=a+16$

これが3の倍数であるとき、4183□は3の倍数になる。

$a+16$ が3の倍数になるのは、 $a=5$ のときである。

よって、求める数は 5

- ② ある2桁の整数を9倍して、36を引くと、百の位は7、一の位は1であるとき、もとの整数を求めよ。

【解答】 83 (3)

【解説】

ある2桁の整数を x とする。

x を9倍して36引いた数は、 $9x-36=9(x-4)$ より9の倍数であるから、各位の数の和は9の倍数になる。

よって、その十の位を b ($0 \leq b \leq 9$) とすると

$$7+b+1=b+8$$

ゆえに $b=1$

したがって $9(x-4)=711$

これを解いて $x=83$

よって、求める整数は 83

- ③ $\sqrt{132n}$ が自然数になるような最小の自然数 n を求めよ。

【解答】 $n=33$ (3)

【解説】

$\sqrt{132n}$ が自然数になるには、 $132n$ がある自然数の2乗になればよい。

132を素因数分解すると $132=2^2 \cdot 3 \cdot 11$

132に $3 \cdot 11$ を掛けると、 $2^2 \cdot 3^2 \cdot 11^2$ すなわち $(2 \cdot 3 \cdot 11)^2$ になる。

よって、求める自然数 n は $n=3 \cdot 11=33$

- ④ 900の正の約数の個数を求めよ。

【解答】 27個 (3)

【解説】

900を素因数分解すると $900=2^2 \cdot 3^2 \cdot 5^2$

よって、900の正の約数の個数は

$$(2+1)(2+1)(2+1)=3 \cdot 3 \cdot 3=27 \text{ (個)}$$

- ⑤ 次の2つの整数が互いに素であるかどうかを答えよ。

(1) 9と13 (2) 18と24

【解答】 (1) 互いに素である (2) 互いに素でない (3)

【解説】

(1) $9=3^2$ 、13は素数であるから、9と13の最大公約数は1である。

よって、9と13は互いに素である。

(2) $18=2 \cdot 3^2$ 、 $24=2^3 \cdot 3$ であるから、18と24の最大公約数は $2 \cdot 3=6$ である。

よって、18と24は互いに素でない。

- ⑥ a は自然数とする。 $a+3$ は5の倍数であり、 $a+1$ は6の倍数であるとき、 $a+13$ は30の倍数であることを証明せよ。

【解説】

$a+3$ 、 $a+1$ は、自然数 m 、 n を用いて

$$a+3=5m, \quad a+1=6n$$

と表される。

$$a+13=(a+3)+10=5m+10=5(m+2) \quad \text{..... ①}$$

$$\text{また } a+13=(a+1)+12=6n+12=6(n+2) \quad \text{..... ②}$$

よって、①より $a+13$ は5の倍数であり、②より $a+13$ は6の倍数でもある。

5と6は互いに素であるから、 $a+13$ は $5 \cdot 6$ の倍数すなわち30の倍数である。 //

- ⑦ n は正の整数とする。 n と20の最小公倍数が240となるような n をすべて求めよ。

【解答】 $n=48, 240$ (4) (8+)

【解説】

20, 240を素因数分解すると

$$20=2^2 \cdot 5, \quad 240=2^4 \cdot 3 \cdot 5$$

よって、20との最小公倍数が240である正の整数は

$$2^4 \cdot 3 \cdot 5^a \quad (a=0, 1)$$

と表される。

したがって、求める整数 n は

$$n=2^4 \cdot 3 \cdot 5^0, 2^4 \cdot 3 \cdot 5^1$$

すなわち $n=48, 240$

- ⑧ a, b は整数とする。 a を9で割ると1余り、 b を9で割ると5余る。次の数を9で割ったときの余りを求めよ。

$$(1) a+b \quad (2) 2a^2+b^2$$

【解答】 (1) 6 (2) 0

【解説】

a, b は、整数 k, l を用いて

$$a=9k+1, \quad b=9l+5$$

と表される。

$$(1) a+b=(9k+1)+(9l+5)=9(k+l)+1+5=9(k+l)+6$$

よって、 $a+b$ を9で割ったときの余りは 6

$$\begin{aligned} (2) 2a^2+b^2 &= 2(9k+1)^2+(9l+5)^2 \\ &= 2(9^2k^2+2 \cdot 9k \cdot 1+1^2)+(9^2l^2+2 \cdot 9l \cdot 5+5^2) \\ &= 9(18k^2+4k+9l^2+10l)+2+25 \\ &= 9(18k^2+4k+9l^2+10l+3) \end{aligned}$$

よって、 $2a^2+b^2$ を9で割ったときの余りは 0

- ⑨ 次の2つの整数の最大公約数を、互除法を用いて求めよ。608, 171

【解答】 19 (3)

【解説】

$$608=171 \cdot 3+95$$

$$171=95 \cdot 1+76$$

$$95=76 \cdot 1+19$$

$$76=19 \cdot 4+0$$

よって、最大公約数は 19

$$\begin{array}{r} 4 \quad 1 \quad 1 \quad 3 \\ 19 \overline{) 76} \quad 95 \overline{) 171} \quad 608 \overline{) 608} \\ \underline{76} \quad \underline{95} \quad \underline{95} \quad \underline{513} \\ 0 \quad 19 \quad 76 \quad 95 \end{array}$$

- ⑩ 次の方程式の整数解をすべて求めよ。 $5x+8y=1$

【解答】 k は整数とする。 $x=8k-3, y=-5k+2$ (4)

【解説】

$$5x+8y=1 \quad \text{..... ①}$$

$x=-3, y=2$ は、①の整数解の1つである。

$$\text{よって } 5 \cdot (-3)+8 \cdot 2=1 \quad \text{..... ②}$$

$$\text{①}-\text{②} \text{ から } 5[x-(-3)]+8[y-2]=0$$

$$\text{すなわち } 5(x+3)+8(y-2)=0 \quad \text{..... ③}$$

5と8は互いに素であるから、③のすべての整数解は

$$x+3=8k, \quad y-2=-5k \quad (k \text{ は整数})$$

したがって、①のすべての整数解は

$$x=8k-3, \quad y=-5k+2 \quad (k \text{ は整数})$$

- ⑪ 次の数を10進法で表せ。 $1103_{(4)}$

【解答】 83 (3)

【解説】

$$1103_{(4)}=1 \cdot 4^3+1 \cdot 4^2+0 \cdot 4^1+3 \cdot 4^0=64+16+0+3=83$$

- ⑫ 次の10進数を[]内の表し方で表せ。 86 [3進法]

【解答】 $10012_{(3)}$ (3)

【解説】

86を3で割り、商を3で割る割り算を繰り返すと右のようになる。

余りを逆順に並べて $10012_{(3)}$

$$\begin{array}{r} 3 \overline{) 86} \quad \text{余り} \\ \underline{3 \overline{) 28}} \quad \dots 2 \\ \underline{3 \overline{) 9}} \quad \dots 1 \\ \underline{3 \overline{) 3}} \quad \dots 0 \\ \underline{3 \overline{) 1}} \quad \dots 0 \\ 0 \quad \dots 1 \end{array}$$

- ⑬ 次の数を10進法の小数で表せ。 $0.111_{(2)}$

【解答】 0.875 (3)

【解説】

$$0.111_{(2)}=1 \cdot \frac{1}{2^1}+1 \cdot \frac{1}{2^2}+1 \cdot \frac{1}{2^3}=0.5+0.25+0.125=0.875$$

- ⑭ 次の10進数を[]内の表し方で表せ。 0.625 [4進法]

【解答】 $0.22_{(4)}$ (3)

【解説】

0.625に4を掛け、小数部分に4を掛けることを繰り返すと右のようになる。

出てきた整数部分を順に並べて $0.22_{(4)}$

$$\begin{array}{r} 0.625 \\ \times 4 \\ \hline 2.500 \\ \times 4 \\ \hline 2.0 \end{array}$$

1 4桁の自然数 $257\square$ が4の倍数であるとき、 \square に入る数をすべて求めよ。

解答 2, 6
 \square に入る数を $a (0 \leq a \leq 9)$ とする。
下2桁が4の倍数であるとき、4桁の自然数は4の倍数になる。
下2桁が4の倍数になるのは、 $a=2, 6$ のときである。
よって、求める数は 2, 6

2 135の倍数で、正の約数の個数が15個である自然数 n を求めよ。

解答 $n=2025$
 n の正の約数の個数が $15=15 \cdot 1=3 \cdot 5$ であるから、 n を素因数分解すると
 $p^4, p^2 \cdot q^4 (p, q$ は異なる素数)
のいずれかの形で表される。
 n は135の倍数であり、 $135=5 \cdot 3^3$ であるから、 n は $p^2 q^4$ の形で表される。
よって、求める自然数 n は $n=5^2 \cdot 3^4=2025$

3 252との最小公倍数が1008である自然数の個数を求めよ。

解答 6個
252, 1008を素因数分解すると
 $252=2^2 \cdot 3^2 \cdot 7, 1008=2^4 \cdot 3^2 \cdot 7$
よって、252との最小公倍数が1008である正の整数は
 $2^4 \cdot 3^a \cdot 7^b (a=0, 1, 2; b=0, 1)$
で表される。
したがって、求める自然数の個数は $3 \times 2=6$ (個)

4 1から300までの300個の自然数の積 $N=1 \cdot 2 \cdot 3 \cdots 300$ を計算すると、末尾には0が連続して何個並ぶか。

解答 74個
1から300までの自然数のうち、
5の倍数の個数は、300を5で割った商で 60
 5^2 の倍数の個数は、300を 5^2 で割った商で 12
 5^3 の倍数の個数は、300を 5^3 で割った商で 2
よって、 N を素因数分解したときの素因数5の個数は $60+12+2=74$ (個)
末尾の0の個数を求めるには、因数10の個数がわかればよい。
 $10=2 \cdot 5$ であり、素因数2の個数は明らかに素因数5の個数より多いから、因数10の個数は素因数5の個数に等しい。
よって、 N を計算すると、末尾には0が連続して74個並ぶ。

5 n は整数とする。 n が3の倍数でないならば、 $2n^2-5$ は3の倍数であることを証明せよ。

解答 略
 n は3の倍数でないから、整数 k を用いて
 $3k+1, 3k+2$
のいずれかの形で表される。
[1] $n=3k+1$ のとき
 $2n^2-5=2(3k+1)^2-5=2(9k^2+6k+1)-5=18k^2+12k-3=3(6k^2+4k-1)$
[2] $n=3k+2$ のとき
 $2n^2-5=2(3k+2)^2-5=2(9k^2+12k+4)-5=18k^2+24k+3=3(6k^2+8k+1)$
よって、いずれの場合も、 $2n^2-5$ は3の倍数である。
[別解] $\text{mod } 3$ で考えると、 n は3の倍数ではないので $n \equiv \pm 1$ である。
ここで、 $2n^2-5 \equiv 2(\pm 1)^2-5 \equiv -3 \equiv 0$ より、 $2n^2-5$ は3の倍数となる。
[6] n は自然数とする。 $n^2-14n+40$ が素数となるような n をすべて求めよ。

解答 $n=3, 11$
 $n^2-14n+40=(n-4)(n-10)=(4-n)(10-n)$
 $n-4 > n-10, 4-n < 10-n$ であるから、 $n^2-14n+40$ が素数であるとき
 $n-10=1$ または $4-n=1$
すなわち $n=11$ または $n=3$
 $n=11$ のとき $n^2-14n+40=(11-4)(11-10)=7$ (素数)
 $n=3$ のとき $n^2-14n+40=(4-3)(10-3)=7$ (素数)
よって、 $n^2-14n+40$ が素数となるような n は $n=3, 11$
[7] 次の方程式の整数解をすべて求めよ。 $xy-5x-y=0$

解答 $(x, y)=(2, 10), (6, 6), (0, 0), (-4, 4)$
 $xy-5x-y=(x-1)(y-5)-5$ であるから
 $(x-1)(y-5)-5=0$
すなわち $(x-1)(y-5)=5$
 x, y は整数であるから、 $x-1, y-5$ も整数である。
ゆえに $(x-1, y-5)=(1, 5), (5, 1), (-1, -5), (-5, -1)$
よって $(x, y)=(2, 10), (6, 6), (0, 0), (-4, 4)$

8 5で割ると2余り、14で割ると5余る自然数のうち、3桁で最小のものを求めよ。

解答 117
求める自然数を n とすると、 n は整数 x, y を用いて、次のように表される。
 $n=5x+2, n=14y+5$
よって $5x+2=14y+5$
すなわち $5x-14y=3 \cdots \cdots ①$
 $x=-5, y=-2$ は、 $5x-14y=3$ の整数解の1つであるから
 $5 \cdot (-5)-14 \cdot (-2)=3 \cdots \cdots ②$
①-②から $5(x+5)-14(y+2)=0 \cdots \cdots ③$
5と14は互いに素であるから、③を満たす整数 x は
 $x+5=14k$ すなわち $x=14k-5 (k$ は整数)
と表される。
したがって $n=5x+2=5(14k-5)+2=70k-23$
 $70k-23$ が3桁で最小となるのは、 $k=2$ のとき
 $n=70 \cdot 2-23=117$

9 次の計算の結果を、2進法で表せ。 $11110_{(2)}+111_{(2)}$

解答 $100101_{(2)}$
 $11110_{(2)}+111_{(2)}=100101_{(2)}$

10進法で計算すると
$$\begin{array}{r} 30 \\ + 7 \\ \hline 37 \end{array}$$

10 3桁の自然数 N を5進法で表すと $a0b_{(5)}$ になり、7進法で表すと、逆の並びの $b0a_{(7)}$ になるという。 a, b を求めよ。また、 N を10進法で表せ。

解答 $a=4, b=2, N=102$
 $a0b_{(5)}$ は5進数であるから
 $1 \leq a \leq 4, 0 \leq b \leq 4 \cdots \cdots ①$
 $b0a_{(7)}$ は7進数であるから
 $1 \leq b \leq 6, 0 \leq a \leq 6 \cdots \cdots ②$
①, ②から $1 \leq a \leq 4, 1 \leq b \leq 4 \cdots \cdots ③$
 N を10進法で表すと
 $N=a0b_{(5)}=a \cdot 5^2+0 \cdot 5^1+b \cdot 5^0=25a+b$
 $N=b0a_{(7)}=b \cdot 7^2+0 \cdot 7^1+a \cdot 7^0=49b+a$
よって $25a+b=49b+a$
整理すると $a=2b$
これと③から $(a, b)=(2, 1), (4, 2)$
[1] $(a, b)=(2, 1)$ のとき
 $N=25 \cdot 2+1=51$
これは3桁の数でないから適さない。
[2] $(a, b)=(4, 2)$ のとき
 $N=25 \cdot 4+2=102$
これは3桁の数であるから、適する。
したがって $a=4, b=2, N=102$